

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和7年9月23日

事業者名: 社会福祉法人桜友会

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	・井戸を掘削し、非常時に備えるとともに、に日常においても水道水の使用量の削減を目指す。 ・プラスチック製品の使用制限（例えばクリアホルダー等）。 ・現在は電力の再エネルギー使用を検討している	⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに、③すべての人に健康と福祉を、 ⑪住み続けられるまちづくりを	地域に暮らす人々が安心して暮らせるよう、高齢者・児童・障がいの分野で包括的にサービスを提供している。 高齢者の在宅生活維持・配食サービス。児童施設での社会不適応子ども達の生活、通学援助。 障がいでは訪問サービス・ショートステイ事業に加え日中サービス支援型GHの運営。 エネルギー面については井戸の掘削・無駄な資源使用の削減に努めている。 プラスチックファイルは令和5年度から購入していない。	指標	・各事業所における利用率、在宅生活維持率 ・子ども達の登校率 ・水道・電気・ガス等のエネルギー使用削減率
				目標	・2030年度までに令和4年度使用量を10%削減する ・子ども達の登校率の維持 ・高齢者の在宅生活維持年数を令和令和4年度比較5%アップ
社会	・適正な労働に適正な報酬そして働く意欲のある人々に適正な仕事を ・職場での教育機会の提供、スキルアップの奨励とそれを適切に評価する仕組み作り ・ライフステージにあわせて働ける環境作り ・子育て支援	①貧困をなくそう、④質の高い教育をみんなに、 ⑤ジェンダー平等を実現しよう	・全職員の研修参加推奨。年間における資格取得目標数を上げて実践している ・女性職員の育休取得100% ・男性職員の育休取得実績あり ・女性管理職の育成に向けて検討中 ・各種規程の見直しを行った	指標	・全職員の研修参加率 資格取得率 ・男女共の産休・育休の取得率 ・女性管理職率
				目標	・全職員の研修参加率 100% 資格取得率目標値100%達成 ・男女共に産休・育休の取得率 該当職員は100%取得 ・女性管理職率 50%
経済	・地域での生活を維持するためのきめの細かいサービスの提供。例えば昼食のみならず夕食の配食サービスを提供し在宅生活の維持と離れて暮らす家族の安心につながっている。 ・教育を受ける機会の提供、働きながらも学べる環境の提供 ・働く意欲のある方に適正な仕事を提供し、働きがいと適正収入を ・生産性を上げるためのIT化と業務の見直し	⑧働きがいも経済成長も、 ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑪住み続けられるまちづくりを	・地域生活を維持するための訪問介護、昼食・夕食の配食サービス、日中サービス支援事業（障がい）の提供、児童施設入所時の原籍校への復帰支援 ・働きながら学ぶ支援 ・高齢者・障がい者就労促進	指標	・高齢者の在宅生活維持年数 ・児童施設入所児の登校率 ・資格取得者数 ・高齢者・障がい者採用数
				目標	・高齢者の在宅生活維持年数 在宅サービス利用者の継続年数を令和5年度比1割増 ・児童施設入所児の登校率 現状100%の維持 ・資格取得者数 目標値は100%達成 ・高齢者・障がい者採用数 令和5年度比10%増
ガバナンス	チェック				
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ ・主任以上が集まる職員会議にて、趣意書を提示。法人としてSDGsを推進していくことを周知した。 ・部長以上が集まる経営会議にて、重点目標を提示し、これにどう取り組むか進め方について検討。部長を各事業所の代表として、重点目標を達成する方法を検討する。 ・半期ごとに進捗状況を確認していく。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・ホームページにてSDGsに取り組むことを宣言 https://www.hohoemi.or.jp/about/certification/ ・お知らせページにて、法人の取組み、目標を公表している ・法人発行の機関紙（10月発行予定）にてSDGsの取組宣言を行う予定			